

カリキュラム Curriculum	文学研究科MC		ナンバリング Numbering	
番号 Number	科目種別 / 学科目 Course title	転用科目 Substitute for		種別 Subject type
409	共時英語学研究 <Studies in English Synchronic Linguistics>			講義
専攻 Major	担当教員 Instructor(s)		開講期 Semester	開講時間帯 Day and time
英語学	大室 剛志(OMURO Takeshi)		前期	金曜：5限
講義題目 Title	意味理論研究			
単位 Credit	2			
備考 Others				
履修条件 注意事項 Requirements for registration	英語学専攻の大学院生、あるいは生成文法の基本的知識を備えている大学院生に限る。			
授業の目的 Purpose	<p>生成文法理論における最新の意味理論について学び、英語意味論の研究を進めてゆくための理論的基盤を築くことを目標とする。これらの目標達成を目指すことにより、人文学の知の伝統に対する探求心を養い、言語による表現力を磨き、新時代への深い洞察力を身につけることに繋げる。</p> <p>The purpose of this course is to study the most recent semantic theory in generative grammar and to lay the theoretical basis on developing the study of English semantics. To achieve this goal, students develop the ability of exploring the intellectual tradition of human sciences and that of brushing up linguistic expressions, thereby acquiring a deep insight on the future of human sciences.</p>			
授業の内容 授業の方法 Content	<p>人間の精神 / 脳に存在する言語を仮定した上で、言語とはどのようなものか、言語はどのように獲得されるのか、言語は産出・理解の際にどのように用いられるのかを明らかにすることを言語研究の目標とし、この授業では、この目標を達成する上で必要となる意味理論のあるべき姿について、最新の理論言語学の文献を取り上げ、文献を正確に読む訓練を積みながら、検討していくことにする。本年度前期は、Jackendoff (2007) Language, Consciousness, Culture, MIT Press. のSeries Forward (要するにこの本の最初) から本年度は開始することにする。</p>			
教科書 テキスト Textbooks	Jackendoff (2007) Language, Consciousness, Culture, MIT Press.			
参考書 References	<p>田中伸一・阿部潤・大室剛志(2000)『入門生成言語理論』東京：ひつじ書房 Jackendoff (2003) Foundations of Language, Oxford University Press. Jackendoff (2010) Meaning and the Lexicon, Oxford University Press. Culicover and Jackendoff (2005) Simpler Syntax, Oxford University Press.</p>			
受講生の 自宅学習 Preparation and review	上記の文献を英語表現を含めた細部にわたって精読し、その内容について吟味しておく。担当者は準備として、担当箇所の内容と引用されている文献の情報を報告できるようにしておく。			
成績評価の 方法と基準 Evaluation	学期末のレポート(50%)、授業での報告(30%)、授業への積極的参加(20%)			
連絡方法 Contact information	オフィスアワーに研究室に来るか、電子メール(omuro@lit.nagoya-u.ac.jp)等で時間を相談の上、研究室に来ること。			